



学園で行う

各種評価について

うめだ・あけぼの学園
発達支援部
地域支援部

うめだ・あけぼの学園では、お子さんの発達の状態を把握し、ご家庭や学園の支援で活用していくために、各職種による様々な評価を行っております。

学園で行っている評価にどのようなものがあるのか、評価によってどのようなことがわかるのか、どのような職員が担当するかといったことをご紹介します。

<発達検査や知能検査>

○現在のお子さんの発達の状態を保護者の方や担当者と共に理解し、今後の支援の必要性とその方向性について一緒に考えるための評価です。親子通園室・毎日通園室・指定日通園室（学齢児支援を除く）に所属しているお子さんは基本的に年一回程度の頻度で実施します。

○発達検査や知能検査、普段使用している教材を使用した行動観察を実施します。保護者の方からの聴き取りによる検査をすることもあります。

- ・担当職種：公認心理師、臨床心理士、臨床発達心理士

<食事評価>

○離乳食の進め方、上手に食べられるコツ、好き嫌いやムラ食いなど、食事についての「なぜ？」の理由と対応を知りたい時に受けていただく評価です。

○普段の食事を持参していただき食べる様子を見させていただくほかに、事前に食事調査にお答えいただいたり、ご自宅の様子を写真や動画に撮っていただいたりすることもあります。

- ・担当職種：OT（作業療法士）、ST（言語聴覚士）

<ST（言語）評価>

○ことばやコミュニケーションについて、意味のあることばがまだない、少ない、ことばが繋がらない、やりとりができない時に受けていただく評価です。ことばに代わる伝達手段の活用方法や文章を話すお子さんの発音や吃音のご相談にもなっています。

○遊びや関わりの中でお子さんのことばやコミュニケーションの様子を見させていただきます。言語検査を実施したり、事前に言語の調査にお答えいただいたりすることもあります。

- ・担当職種：ST（言語聴覚士）

<視覚評価>

○目を細めたり首を傾けたり「見る」行動で気になることがある、段差がある場所を避けるなどの行動をとる、パズルやブロックなど空間をとらえる遊びがほかの遊びよりも苦手である、文字の読み間違いや書き間違いが改善されない、眼鏡を処方されたけれどなかなかかけてくれないなど、それらの行動の背景を「見る」という視点で確認したい・対応方法を知りたい時に受けていただく評価です。

○遊びや関わりの中でお子さんの視機能・視覚認知の様子を見させていただきます。発達に合わせた視力検査や視覚検査を実施することもあります。

- ・担当職種：視覚スタッフ（公認心理師、臨床発達心理士）

<OT（作業療法）評価>

○不器用だなと感じられる時、くるくると回る、高いところに登りたがる、食べ物でないものを口に入れる行動が減らないなど感覚にまつわること、新しい場面になかなか慣れない、特定の場所を避けるなど行動に関することについて作業療法の視点からご相談を受けています。

○実際に手を使った遊びや簡単な作業の中でお子さんの様子を見させていただきます。また、ご自宅で使用しているものを持参いただくことがあります。事前調査への記入をお願いすることがあります。

・担当職種：OT（作業療法士）

<PT（運動）評価>

○移動、座ったり立ったりといった姿勢、また学園では歩行を開始したばかりのお子さんのその後の応用動作の獲得についてなどのご相談にのっています。椅子や机などの生活道具の工夫やインソール（靴の中敷き）の検討、作成を行います。

○身体をダイナミックに動かす様子や姿勢保持の様子を見させていただきます。また日常的な動作（着替えなど）につながる運動的なアドバイスもします。

・担当職種：PT（理学療法士）

☆親子通園室と毎日通園室では個別的な評価以外に、上記アセスメント担当者が適宜クラス・グループに入り、生活場面や集団場面での様子を評価し、担当者と共に支援を考える機会を設けています。

☆評価を受けるご希望がある場合はキーパーソンや担当職員にお伝えください。職員から評価をおすすめする場合があります。

（2023年4月1日更新）